

授業科目等の概要

ファッション専門課程 ファッションクリエイティブ学科 ファッションデザインコース 2019年度(H31)

区分	分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法					場所		教員		企業との連携		
	教科名	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習	実習	実技	校内	校外	専任	兼任			
服飾造形	服装造形論 I	○			服装造形論	基本的な衣服の構造と縫製法を学習し、人体を含む衣服の構成を1年間かけて習得する(一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識)。 アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得する(ディテール名称含む)。 人体を計測観察し、立体の基礎知識と技術の基本を学習し、パターンメイキングの方法を習得する。 実物製作・部分縫いを通して基礎的な縫製技術を習得する(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)。	1・通年	120	4	○					○	○					
	デザイン I	○			服装造形 デザイン		1・通年	60	2						○	○					
	ソーイング I	○			服装造形 ソーイング		1・通年	360	12		△				○	○			○		
	平面構成 I	○			服装造形 平面構成		1・通年	90	3						○	○			○		
	立体構成 I	○			服装造形 立体構成		1・通年	30	1		△				○	○			○		
	アパレル生産管理 I	○			生産企画		1・通年	20	2		△				○	○			○	○	
		○			生産管理		1・通年	20								○	○			○	○
		○			アパレル品質論・素材論		1・通年	20			○					○	○			○	○
メイキング I	○			パターンメイキング	1・通年	60	2						○	○			○	○			
アパレルパターン I	○			工業パターンメイキング	1・通年	30	1						○	○			○	○			
ファッションデザイン	○			ファッションデザイン画	人体のプロポーション、衣服着装の表現(陰影、しわ、構造線)ができるよう、基礎テクニックを中心として学び、素材表現までを習得する。	1・通年	60	3						○	○			○	○		
	○			クロッキー	対象物を素早く描くことで、そのものの動きや変化を大きく捉え、表現する力(影の表現法、立体表現含む)を習得する。	1・前期	12								○	○			○	○	
	○			ファッションデザインCG	フォトショップ・イラストレーターを駆使し、オリジナル企画書を作成する方法を習得する。	1・通年	12								○	○			○	○	
	○			テキスタイルデザイン	素材の知識や構造等テキスタイルの全般を学習する。	1・前期	6			△					○	○			○	○	
	○			ファッション色彩学	色についての基礎的な知識を学習し、色彩によるデザインの変化や視覚的効果などを習得する。	1・前期	15			○					△	○	○			○	○
	○			服装史	古代から現代に至る、西洋を中心とした服装の推移・発展を映像などを使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を活かせるよう学習する。	1・通年	8		1	○						○	○			○	○
	○			ファッション情報	市場調査や、雑誌・テレビ・インターネットなどから情報を収集し、ファッションデザインに反映させる技法を習得する。	1・通年	7			○						○	○			○	○

服飾 工芸	服飾 工芸Ⅰ	○	服飾手芸	刺繍・パッチワーク等の、デザインと素材に合わせた技法の基礎を習得する。	1・前期	15	2							○	○	○			○		
		○	テキスタイル	テキスタイルを機織を使用しての実物製作を通して、織りの構造を習得する。	1・前期	24											○	○			○
		○	染色	生地への染色技法の基礎を、絞り染めの実習を通して習得する。	1・後期	6											○	○			○
		○	アクセサリ	作品にあったアクセサリを製作し、基礎知識を習得する。	1・後期	15											○	○			○
ファッ ション ビジ ネス	ファッ ション ビジ ネス 論Ⅰ	○	ファッションビジネス論	ファッションビジネス業界の基礎知識と現状を学習する。	1・通年	12	1	○								○			○		
		○	ショップリサーチ	商品開発や広告の為に市場調査・分析等の方法を学習する。	1・通年	15		○									○	△		○	
		○	コンピュータワーク	コンピュータの基本操作を学習し、文章入力・表計算の方法等を習得する。	1・後期	3			○											○	
ファッ ション コー ディ ネー ト	ファッ ション コー ディ ネー トⅠ	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学習する。	1・通年	21	2	○								○			○		
		○	コーディネート演習	着こなしや、着せつけなど演習を通して、コーディネートの基礎知識を学習する。	1・通年	21		○										○		○	
		○	メイク	基礎化粧品を学び、肌に合った手入れ方法・メイクアップ技術・顔の特徴にあわせたメイク方法・ステージで映えるメイク方法を習得する。フレグランスとネイルの基礎を学習する。	1・通年	18		○							△		○			○	
就職	キヤ リア 教育 Ⅰ	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践教育する。学校内での、企業説明会の開催。	1・後期	13	1	○								○			○		
		○	企業研修	協力企業にてインターシップ研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	1・後期	17										○				○	○
一般 教養	一 般 教 養 Ⅰ	○	茶 道	お茶の作法から礼儀まで、日本文化を習得する。	1・前期	9	1	○									○			○	
		○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学習する。	1・通年	16										○				○	
		○	美術鑑賞	美術館などを見学し、美術・芸術に触れ、創造力・感性を養う。	1・前期	5		○											○	○	
その 他	特 別 授 業	○	校外研修	学校外にて工場、作品展示、ファッションショーなどを見学・参加して、研修を受ける。	1・通年	15	1	○											○	○	
		○	特別講義	企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家を招き、講義を受ける。	1・通年	15		○												○	○
	学 校 行 事	○	学校行事	新入生歓迎会、針供養、作品発表会などの行事。	1・通年	30	1	○											○	○	
学年合計				18教科 35科目		1200 時間				40 単位											

区分	分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法					場所		教員		企業との連携	
	教科名	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習	実習	実技	校内	校外	専任	兼任		
服飾造形	服装造形論Ⅱ	○			服装造形論		2・通年	120	4	○					○		○			
	デザインⅡ	○			服装造形 デザイン	基本的な衣服の構造と縫製法を学習し、人体を含む衣服の構成を1年間かけて習得する(一般知識、概説、縫製の基礎と応用、パターン記号、サイズの知識)。アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得する(ディテール人体を計測観察し、立体の基礎知識と技術の基本を学習し、パターンメイキング方法を習得する。実物製作・部分縫いを通して基礎と応用の縫製技術を習得する(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)。名称含む)。	2・通年	60	2				○		○		○			
	ソーイングⅡ	○			服装造形 ソーイング		2・通年	270	9		△			○	○		○			
	平面構成Ⅱ	○			服装造形 平面構成		2・通年	90	3					○		○		○		
	立体構成Ⅱ	○			服装造形 立体構成	eduボディを使用し、立体的裁断の基礎(一般知識・ボディの準備・裁断・スカート応用、原型ダーツ、ブラウスのドレーピング)を習得する。	2・通年	60	2		△			○		○		○		
	アパレル生産管理Ⅱ	○				生産企画	縫製工場での生産ラインの組立てを理解し、生産計画の方法を習得する。	2・通年	30	2		△				○		○		○
		○				生産管理	生産ラインで使用する縫製仕様書、加工指示書、裁断指示書等の書類について学習し、製造・生産の管理方法を習得する。	2・通年	15							○		○		○
		○				アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し、新素材の情報や産地について学習し、企画・販売などに生かせる知識を習得する。	2・通年	15			○				○		○		
		○				パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を習得する。	2・通年	120		4					○		○		○
	アパレルパターンメイキングⅡ	○				工業パターンメイキング	ドレーピングや平面作図より制作したパターンを縫製工場生産するための工業用パターンに展開する方法を習得する。	2・通年	30	2					○		○		○	
		○				グレーディング	パターンをサイズ別に展開する技術や知識を習得する。	2・前期	10							○		○		○
		○				CADパターンメイキング	アパレル産業の設計・生産・製造のプロセスにおける、基本的なアパレルCADの操作を習得する。	2・前期	10			○				○		○		○
○					CADグレーディング	グレーディングから応用編のパターンアレンジまでの、技術を習得する。	2・前期	10			○				○		○		○	
ファッションデザイン	○				ファッションデザイン画	基礎を元に、デザイン・色彩を創造する演習を通して、より豊かな感性と表現力を習得する。	2・通年	39	2					○		○		○		
	○				ファッションデザインCG	フォトショップ・イラストレーターを駆使し、オリジナル企画書を作成する方法を習得する。	2・通年	21							○		○		○	
	○				ファッション色彩学	色彩、フォルムコンポジションなど色について学習する。	2・前期	15		○				△		○		○		
	○				モード史	現代ファッションの流れを理解し、服飾用語についての知識を深め、学習する。	2・通年	12		○					○		○			
	○				ファッション情報	雑誌やインターネット、メディアなどからファッションについての情報を収集する方法を習得する。	2・通年	3	2	○					○		○			

イン学Ⅱ	○	テキスタイルデザイン概論	素材の知識や構造等、テキスタイル全般を学習する。	2・通年	18	△															
	○	ファッション概論	デザインを考え、新しいデザインを創造する方法を学習する。	2・前期	12	○					△	○								○	
服飾工芸Ⅱ	○	服飾手芸	ビーズ刺繍・パッチワーク等の、デザインと素材に合わせた多種多様な技法を習得する。	2・通年	5						△	○	○							○	
	○	ニット	手編み(かぎ針・棒針)、編地の種類と特質を理解し、編地の組織変化を学習する。	2・前期	6								○	○							○
	○	帽子	帽子の基礎的知識や構造、作り方など基本パターンを使って作り方の手順を習得する。	2・後期	5									○	○						○
	○	染色	生地染色技法を、型染めの実習を通して習得する。	2・前期	9									○	○						○
	○	アクセサリー	課題作品にコーディネートしたアクセサリーを製作して手工芸の技術を習得する。	2・後期	5										○	○					○
ファッションビジネスⅡ	○	ファッションビジネス論	ファッション産業構造の把握と専門業務について理解し、ファッション業界全般について学習する。	2・前期	15									○						○	
	○	ショッピングリサーチ	商品開発や広告の為に市場調査・分析等を行い、課題作品・商品企画の為に発想に生かす方法を学習する。	2・通年	10									○						○	
	○	販売実務	販売員の仕事内容や、対応の仕方などの知識と接客の基本動作を、実践を通して学習する。	2・後期	5										○						○
コーディネート	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネイトの方法を学習し、表現力を習得する。	2・通年	15									○						○	
	○	コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどの演習を通して、個性を生かしたコーディネイトの技術を習得する。	2・通年	15									○							○
キャリア教育Ⅱ	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践教育する。学校内での、企業説明会の開催。	2・通年	30									○						○	
	○	企業研修	協力企業にてインターシップ研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	2・通年	30										○						○
一般教養Ⅱ	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学ぶ。	2・前期	15										○						○
	○	美術鑑賞	美術館などを見学し、美術・芸術に触れ、創造力・感性を養う。	2・前期	15									○							○
その他	○	校外研修	学校外にて工場、作品展示、ファッションショーなどを見学・参加して、研修を受ける。	2・通年	15									○							○
	○	特別講義	企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家を招き、講義を受ける。	2・通年	15									○							○
	○	学校行事	新入生歓迎会、針供養、作品発表会などの行事。	2・通年	30									○							○
学年合計			20教科 37科目			1200 時間		40 単位													
総合計			38教科 72科目			2400 時間		80 単位													
				学年授業方法	講義					実験・実習・実技・演習											
				授業総合計	講義					実験・実習・実技・演習											
卒業要件履修方法						授業期間等															
単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること						1学年の学期区分				2期											
						1学期の授業期間				21週											

(注)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すること。
- 2 企業との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について○を付すること。

授業科目等の概要  
ファッション専門課程 ファッションクリエイティブ学科 ファッション技術コース 2019年度(H31)

区分	分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法					場所		教員		企業との連携
	教科名	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習	実技	校内	校外	専任	兼任		
服飾造形	服装造形 I	○			服装造形論	<p>基本的な衣服の構造と縫製法を学習し、人体を包む衣服の構成を1年間かけて習得する(一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識)。 アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得する(ディテール名称含む)。 人体を計測観察し、立体の基礎知識と技術の基本を学習し、パターンメイキングの方法を習得する。 実物製作・部分縫いを通して基礎的な縫製技術を習得する(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)。</p>	1・通年	120	4	○					○	○			
	デザイン I	○			服装造形 デザイン		1・通年	60	2					○	○	○			
	ソーイング I	○			服装造形 ソーイング		1・通年	330	11		△			○	○	○	○		○
	平面構成 I	○			服装造形 平面構成		1・通年	90	3					○	○	○	○		
	立体構成 I	○			服装造形 立体構成		1・通年	30	1		△			○	○	○	○		
	アパレル生産管理 I	○			生産企画		1・通年	20	2	△				○	○	○	○		○
		○			生産管理		1・通年	20							○	○	○	○	
○				アパレル品質論・素材論	1・通年	20	○						○	○	○	○		○	
メイキング I	○			パターンメイキング	1・通年	60	2					○	○	○	○				
	○			工業パターンメイキング	1・通年	30	1					○	○	○	○				
ファッションデザイン	○			ファッションデザイン画	1・通年	30	2					○	○	○	○				
	○			クロッキー	1・前期	12							○	○	○	○		○	
	○			テキスタイルデザイン	1・前期	18		△					○	○	○	○			
	○			ファッション色彩学	1・前期	15		○					△	○	○	○		○	
	○			服装史	1・通年	8		○						○	○	○	○		
	○			ファッション情報	1・通年	7		○						○	○	○	○		
	○			服飾手芸	1・前期	27						△	○	○	○				

服飾工芸	服飾工芸Ⅰ	○	ニット	手編み(かぎ針・棒針)、編地の種類と特質を理解し、編地の組織変化を学習する。	1・前期	9	4						○	○			○			
		○	テキスタイル	テキスタイルを機織を使用しての実物製作を通して、織りの構造を習得する。	1・通年	48									○	○			○	
		○	染色	生地染色技法の基礎を、絞り染めの実習を通して習得する。	1・後期	6										○	○			○
		○	アクセサリー	作品にあったアクセサリーを製作し、基礎知識を習得する。	1・後期	30										○	○			○
ファッションビジネス	ファッションビジネス論Ⅰ	○	ファッションビジネス論	ファッションビジネス業界の基礎知識と現状を学習する。	1・通年	12	1	○						○				○		
		○	ショッピングリサーチ	商品開発や広告の為に市場調査・分析等の方法を学習する。	1・通年	15		○							○	△			○	
		○	コンピュータワーク	コンピュータの基本操作を学習し、文章入力・表計算の方法等を習得する。	1・後期	3			○							○			○	
ファッションコーディネート	ファッションコーディネートⅠ	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの方法を学習し、表現力を習得する。	1・通年	21	2	○						○				○		
		○	コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどの演習を通して、個性を生かしたコーディネートの技術を習得する。	1・通年	21			○						○				○	
		○	メイク	基礎化粧品を学び、肌に合った手入れ方法・メイクアップ技術・顔の特徴にあわせたメイク方法・ステージで映えるメイク方法を習得する。フレグランスとネイルの基礎を学習する。	1・通年	18			○						△				○	
就職	キャリア教育Ⅰ	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践教育する。学校内での、企業説明会の開催。	1・後期	13	1	○						○				○		
		○	企業研修	協力企業にてインターシップ研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	1・後期	17									○				○	○
一般教養	一般教養Ⅰ	○	茶道	お茶の作法から礼儀まで、日本文化を習得する。	1・前期	9	1		○					○					○	
		○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学習する。	1・通年	16		○							○				○	
		○	美術鑑賞	美術館などを見学し、美術・芸術に触れ、創造力・感性を養う。	1・前期	5			○							○	○			
その他	特別授業	○	校外研修	学校外にて工場、作品展示、ファッションショーなどを見学・参加して、研修を受ける。	1・通年	15	1	○										○	○	
		○	特別講義	企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家を招き、講義を受ける。	1・通年	15		○								○			○	○
	○	学校行事	新入生歓迎会、針供養、作品発表会などの行事。	1・通年	30	1		○							○	○	○			
学年合計				18教科	35科目													1200 時間	40 単位	

区分	分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法					場所		教員		企業との連携
	教科名	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験	実習	実技	校内	校外	専任	兼任	
服飾造形	服装造形論Ⅱ	○			服装造形論		2・通年	120	4	○					○		○		
	デザインⅡ	○			服装造形 デザイン	基本的な衣服の構造と縫製法を学習し、人体を包む衣服の構成を1年間かけて習得する(一般知識、概説、縫製の基礎と応用、パターン記号、サイズの知識)。アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得する(ディテール人体を計測観察し、立体の基礎知識と技術の基本を学習し、パターンメイキング方法を習得する。実物製作・部分縫いを通して基礎と応用の縫製技術を習得する(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)。名称含む)。	2・通年	60	2				○		○		○		
	ソーイングⅡ	○			服装造形 ソーイング		2・通年	240	8		△			○	○		○		
	平面構成Ⅱ	○			服装造形 平面構成		2・通年	90	3					○	○		○		
	立体構成Ⅱ	○			服装造形 立体構成	eduボディを使用し、立体的裁断の基礎(一般知識・ボディの準備・裁断・スカート応用、原型ダーツ、ブラウスのドレーピング)を習得する。	2・通年	60	2		△			○	○		○		
	アパレル生産管理Ⅱ	○			生産企画	縫製工場での生産ラインの組立てを理解し、生産計画の方法を習得する。	2・通年	15	2	△						○		○	○
		○			生産管理	生産ラインで使用する縫製仕様書、加工指示書、裁断指示書等の書類について学習し、製造・生産の管理方法を習得する。	3・通年	30								○		○	
		○			アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し、新素材の情報や産地について学習し、企画・販売などに生かせる知識を習得する。	2・通年	15		○						○		○	
		メイキングⅡ	○		パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を習得する。	3・通年	120		4					○	○		○	
	アパレルパターンメイキングⅡ	○			工業パターンメイキング	ドレーピングや平面作図より制作したパターンを縫製工場生産するための工業用パターンに展開する方法を習得する。	2・通年	30	2						○		○		
○				グレーディング	パターンをサイズ別に展開する技術や知識を習得する。	2・通年	18								○		○		
○				CADパターンメイキング	アパレル産業の設計・生産・製造のプロセスにおける、基本的なアパレルCADの操作を習得する。	2・前期	12			○					○		○		
ファッションデザインⅡ	○			ファッションデザイン画	基礎を元に、デザイン・色彩を創造する演習を通して、より豊かな感性と表現力を習得させる。	2・前期	30	2						○		○			
	○			テキスタイルデザイン	各種素材の知識や構造等を学習し、ファッションでの表現を習得する。	2・通年	30		△						○		○		
	○			ファッション色彩学	色彩、フォルムコンポジションなど色について学習する。	2・通年	15		○					△		○		○	
	○			モード史	現代ファッションの流れを理解し、服飾用語についての知識を深め、学習する。	2・通年	12		○							○		○	
	○			ファッション情報	雑誌やインターネット、メディアなどからファッションについての情報を収集する方法を習得する。	3・通年	3		○							○		○	
	○			服飾手芸	ビーズ刺繍・パッチワーク等の、デザインと素材に合わせた多種多様な技法を習得する。	2・前期	15							△	○	○	○		



服飾工芸	服飾工芸Ⅱ	○	ニット	手編み(かぎ針・棒針)、編地の種類と特質を理解し、編地の組織変化を学習する。	2・前期	15	3						○	○		○		
		○	テキスタイル	機織の構造を理解し、オリジナルのテキスタイルデザインから織りまでの実物製作を通して、技術を習得する。	2・後期	44									○	○		○
		○	帽子	帽子の基礎的知識や構造、作り方など基本パターンを使って作り方の手順を習得する。	2・後期	5									○	○		○
		○	染色	生地染色技法を、型染めの実習を通して習得する。	2・前期	6									○	○		○
		○	アクセサリ	課題作品にコーディネートしたアクセサリを製作して手工芸の技術を習得する。	2・後期	5									○	○		○
ファッションビジネス	ファッションビジネスⅡ	○	ファッションビジネス論	ファッション産業構造の把握と専門業務について理解し、ファッション業界全般について学習する。	2・前期	15	1	○					○			○		
		○	ショッピングリサーチ	商品開発や広告の為に市場調査・分析等を行い、課題作品・商品企画の為に発想に生かす方法を学習する。	2・通年	15		○							○	○		
コーディネート	コーディネートⅡ	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの知識を学習する。	2・通年	15	1	○					○			○		
		○	コーディネート演習	着こなしや、着せつけなど演習を通して、コーディネートの知識を学習する。	2・通年	15			○						○		○	
キャリア教育Ⅱ	キャリア教育Ⅱ	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践教育する。学校内での、企業説明会の開催。	2・通年	30	2	○					○			○		
		○	企業研修	協力企業にてインターシップ研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	2・通年	30							○			○	○	
一般教養Ⅱ	一般教養Ⅱ	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学ぶ。	2・前期	15	1	○					○			○		
		○	美術鑑賞	美術館などを見学し、美術・芸術に触れ、創造力・感性を養う。	2・前期	15		○						○	○			
その他	特別授業	○	校外研修	学校外にて工場、作品展示、ファッションショーなどを見学・参加して、研修を受ける。	2・通年	15	1	○					○			○		
		○	特別講義	企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家を招き、講義を受ける。	2・通年	15		○						○			○	
	○	学校行事	新入生歓迎会、針供養、作品発表会などの行事。	2・通年	30	1	○						○	○	○			
学年合計				19教科	34科目			1200 時間				40 単位						
総合計				37教科	69科目			2400 時間				80 単位						
					学年授業方法		講義		実験・実習・実技・演習									
					授業総合計		講義		実験・実習・実技・演習									
卒業要件履修方法									授業期間等									
単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること									1学年の学期区分				2 期					
									1学期の授業期間				21 週					

(注)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すること。

2 企業との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について○を付すること。

授業科目等の概要

ファッション専門課程 ファッションクリエイト学科 ファッションビジネスコース 2019年度(H31)

区分	分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法					場所		教員		企業との連携	
	教科名	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習	実技	校内	校外	専任	兼任			
服飾造形	服装造形論 I	○			服装造形論		1・通年	60	2	○					○		○			
	デザイン I	○			服装造形 デザイン	基本的な衣服の構造と縫製法を学習し、人体を包む衣服の構成を1年間かけて習得する(一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識)。 アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得する(ディテール名称含む)。	1・通年	30	1					○			○			
	ソーイング I	○			服装造形 ソーイング	人体を計測観察し、立体の基礎知識と技術の基本を学習し、パターンメイキングの方法を習得する。 実物製作・部分縫いを通して基礎的な縫製技術を習得する(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)。	1・通年	300	10		△			○	○		○			
	平面構成 I	○			服装造形 平面構成		1・通年	60	2						○		○		○	
	アパレル生産管理 I	○			生産管理	布地の持つ性質を理解し、生産工場に倣い、作品(製品)を提出日(納品)までに計画的に生産する流れの中で、品質・原価・納期に関する意識を高め、習得させる。	1・通年	10	1	△					○		○		○	
		○			アパレル品質論・素材論		1・通年	20		○						○		○		○
	パターンメイキング I	○			パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を習得する。	1・通年	30	1						○		○		○	
アパレルパターンメイキング I	○			工業パターンメイキング	工業用パターンメイキングによる、ドレーピングや平面パターンを、工業用パターンに展開する方法を習得する。	1・通年	30	1						○		○		○		
ファッションデザイン	ファッションデザイン画 I	○			ファッションデザイン画	人体のプロポーション、衣服着装の表現(陰影、しわ、構造線)ができるよう、基礎テクニックを中心として学び、素材表現までを習得する。	1・通年	26	1					○		○		○		
	ファッションデザインCG I	○			ファッションデザインCG	フォトショップ・イラストレーターを駆使し、オリジナル企画書を作成する方法を習得する。	1・通年	4			○				△	○			○	
	ファッション色彩学 I	○			ファッション色彩学	色についての基礎的な知識を学習し、色彩によるデザインの変化や視覚的效果などを習得する。	1・前期	20		○				△		○			○	
	ファッションデザイン史 I	○			服装史	古代から現代に至る、西洋を中心とした服装の推移・発展を映像などを使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を活かせるよう学習する。	1・通年	10	2	○					○			○		
	ファッション情報 I	○			ファッション情報	市場調査や、雑誌・テレビ・インターネットなどから情報を収集し、ファッションデザインに反映させる技法を習得する。	1・通年	30		○					○			○		
服飾工芸	服飾手芸 I	○			服飾手芸	作品に合わせた服飾小物の製作技法を習得する。	1・通年	15						△	○	○		○		
	帽子 I	○			帽子	帽子の基礎的な知識や構造、作り方など基本パターンを使って作り方の手順を習得させる。	1・前期	30	2	△					○	○		○		
	アクセサリー I	○			アクセサリー	作品にあったアクセサリーを製作し、基礎知識を習得する。	1・通年	15							○	○		○		
	○			ファッションビジネス論	ファッションビジネスの基礎知識と現状を学習し、ファッション産業構造の把握と専門業務について習得する。	1・通年	55		○						○			○		



		○		美術鑑賞	美術館などを見学し、美術・芸術に触れ、創造力・感性を養う。	1・前期	5		○							○	○		
その他	特別授業	○		校外研修	学校外にて工場、作品展示、ファッションショーなどを見学・参加して、研修を受ける。	1・通年	15	1	○							○		○	○
		○		特別講義	企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家を招き、講義を受ける。	1・通年	15		○					○					○
	学校行事	○		学校行事	新入生歓迎会、針供養、作品発表会などの行事。	1・通年	30	1		○					○		○		
学年合計						19教科 41科目				1200 時間						40 単位			

区分	分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法					場所		教員		企業との連携	
	教科名	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習	実習	実技	校内	校外	専任	兼任		
服飾造形	服装造形論Ⅱ	○			服装造形論		2・通年	30	1	○					○		○			
	デザインⅡ	○			服装造形 デザイン	基本的な衣服の構造と縫製法を学習し、人体を包む衣服の構成を1年間かけて習得する(一般知識、概説、縫製の基礎と応用、パターン記号、サイズの知識)。アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得する(ディテール人体を計測観察し、立体の基礎知識と技術の基本を学習し、パターンメイキング方法を習得する。実物製作・部分縫いを通して基礎と応用の縫製技術を習得する(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)。名称含む)。	2・通年	30	1				○		○		○			
	ソーイングⅡ	○			服装造形 ソーイング		2・通年	360	12	△				○	○		○			
	平面構成Ⅱ	○			服装造形 平面構成		2・通年	30	1					○		○		○		
	アパレル生産管理Ⅱ	○			生産企画	縫製工場での生産ラインの組立てを理解し、生産計画の方法を習得する。	2・通年	5	1	△				○		○		○		
		○			生産管理	生産ラインで使用する縫製仕様書、加工指示書、裁断指示書等の書類について学習し、製造・生産の管理方法を習得する。	2・通年	5							○		○		○	
		○			アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し、新素材の情報や産地について学習し、企画・販売などに生かせる知識を習得する。	2・通年	20		○					○		○		○	
メイキングⅡ	○			パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を習得する。	2・通年	30	1					○		○		○			
アンメーキングⅡ	○			工業パターンメイキング	ドレーピングや平面作図より制作したパターンを縫製工場生産するための工業用パターンに展開する方法を習得する。	2・通年	30	1					○		○		○			
ファッションデザイン	○			ファッションデザイン画	基礎を元に、デザイン・色彩を創造する演習を通して、より豊かな感性と表現力を習得させる。	2・通年	15	1					○		○		○			
	○			ファッションデザインCG	フォトショップの基本操作を学び、ショップDMの作成等の実習を通じ、技術を習得する。	2・前期	9		○				△	○				○		
	○			テキスタイルデザイン	各種素材の知識や構造等を学習し、ファッションでの表現を習得する。	2・後期	6				△			○	○			○		
	○			ファッション色彩学	色彩、フォルムコンポジションなど色について学習する。	2・後期	15	○					△		○			○		
	○			モード史	現代ファッションの流れを理解し、服飾用語についての知識を深め、学習する。	2・前期	12	○							○			○		
	○			ファッション情報	雑誌やインターネット、メディアなどからファッションについての情報を収集する方法を習得する。	2・通年	3	○							○			○		
服飾工芸	○			アクセサリー	課題作品にコーディネートしたアクセサリーを製作して手工芸の技術を習得する。	2・後期	30	1					○	○			○			
ファッションビジネス	○			ファッションビジネス論	ファッション産業構造の把握と専門業務について理解し、自分の感性を分析することや、ファッション業界全般について学習する。	2・通年	35	1	○					○			○			
	○			販売実務	販売員の仕事内容や、対応の仕方などの知識と接客の基本動作を、実践を通して学習する。	2・通年	12		○						○			○		

ファッションビジネス論Ⅱ	○		リテールマーチャンダイジング (計数)	計数計算の方法を理解し、例題をときながら、計算を解く力を習得する。	2・通年	15	4	○					○							
	○		ストアマネジメント	店舗内における接客、商品の量、計数管理などの運営管理を学習する。	2・通年	12		○						○						
	○		英会話	日常会話に必要な文法を復習し、接客に関する様々な表現方法を学習する。	2・通年	16		○						○						
	○		コンピュータワーク	パワーポイントを使用し、プレゼンテーションする方法を演習を通じ習得する。	2・通年	30		△	○					○		○				
ファッションビジネス ファッションマーケティングⅡ	○		ファッションマーケティング	市場調査(リサーチ)の行い方や考え方を学習し、リサーチをレポート(プレゼンテーション)する技術を習得する。	2・通年	13	6	○					○	△				○		
	○		ファッションマーチャンダイジング	ブランドの、企画から販売までの計画を学習し、管理の知識を習得する。	2・通年	24		○						○					○	
	○		ビジュアルマーチャンダイジング	什器やボックスを使い、服の陳列方法やディスプレイの視覚的(ビジュアル)効果を計画し、実習を通じ技術を習得する。	2・通年	30			△				○	○					○	
	○		セールスプロモーション (広告論)	広告の効果について学習し、売上を伸ばす為の広告作りの方法を実習を通じ、習得する。	2・前期	42		○						△	○					○
	○		マーケットリサーチ	商品開発や広告、販売方法を企業のセールス活動の実例を引用しながら学習し、市場調査・分析を行う方法を習得する。	2・通年	15		○						○						○
	○		ディスプレイ	ディスプレイに関する構成、什器の使用方法、テグスの使い方などの知識を活かし、実習を通じ技術を習得する。	2・通年	50								○	○	△				○
	○		インテリアコーディネート	照明の効果、床壁材の特徴から、設計デザインの基礎を学習する。	2・後期	6								○	○					○
スタイリスト論Ⅱ	○		スタイリスト論	スタイリストに必要な知識と実務について学習する。	2・通年	15	1	○					○					○		
	○		スタイリスト演習	製作物作品や、時代、季節に合わせたコーディネートや着せ付け方を演習する	2・通年	15			○					○	△				○	
ファッションコーディネートⅡ	○		コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの方法を学習し、表現力を習得する。	2・通年	21	2	○					○					○		
	○		コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどの演習を通して、個性を生かしたコーディネートの技術を習得する。	2・通年	21			○					○					○	
	○		ヘア・メイク	ファッションコーディネートとしての、ヘア・メイクのバランスを学習する。	2・後期	6								○	○	○				
	○		ネイルアート	ネイルの基礎知識とアートネイルの手法を学び、デザインする技法を習得する。	2・後期	12								○	○					○
キャリア教育Ⅱ	○		就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践教育する。 学校内での、企業説明会の開催。	2・前期	30	2	○					○					○		
	○		企業研修	協力企業にてインターシップ研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	2・通年	30							○						○	
	○		茶 道	お茶の作法から礼儀まで、日本文化を学ぶ。	2・前期	9		○					○					○		

一般教養	一般教養Ⅱ	○	国語表現	考えを伝える文章の組み立て方を学習し、ビジネスの場で必要とされる言葉を習得する。	2・通年	18	2				○	○	○			
		○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学習する。	2・前期	18		○				○		○		
		○	美術鑑賞	美術館などを見学し、美術・芸術に触れ、創造力・感性を養う。	2・前期	15		○					○	○		
その他	特別授業	○	校外研修	学校外にて工場、作品展示、ファッションショーなどを見学・参加して、研修を受ける。	2・通年	15	1	○					○		○	○
		○	特別講義	企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家を招き、講義を受ける。	2・通年	15		○				○			○	○
	学校行事	○	学校行事	新入生歓迎会、針供養、作品発表会などの行事。	2・通年	30	1		○				○	○	○	
学年合計				19教科	44科目			1200 時間		40 単位						
総合計				38教科	85科目			2400 時間		80 単位						

	学年授業方法	講義		実験・実習・実技・演習
	授業総合計	講義		実験・実習・実技・演習
卒業要件履修方法			授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること			1学年の学期区分	2 期
			1学期の授業期間	21 週

- (注)
- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すること。
  - 企業との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について○を付すること。

授業科目等の概要  
ファッション専門課程 ファッション研究科 2019年度(H31)

区分	分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法					場所		教員		企業との連携
	科目名	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習	実習	実技	校内	校外	専任	兼任	
服飾造形	服装造形論Ⅲ	○			服装造形論	2年で習得した知識をもとに、オリジナリティとトレンドを意識したデザイン、テクニックの発想を追求する。自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。	通年	60	2	○					○				
	服装造形Ⅲ	○			服装造形 デザイン	2年で習得した知識をもとに、皮革や毛皮の特殊素材に適したデザイン発想、商品企画から考え商品化を見据えたデザインを発想できる力を育成する。	通年	60	2				○		○				
	ソーイング造形Ⅲ	○			服装造形 ソーイング	2年で習得した知識、技術をもとに、応用デザインのスーツ製作、皮革、毛皮、カットソーの特殊素材を使用した作品製作を通して、デザイン別、素材別の縫製方法を習得させる。	通年	240	8		△			○	○				
	平面構成Ⅲ	○			服装造形 平面構成	2年で習得した知識、技術をもとに、さらに機能性や縫製を考慮した平面作図の方法、各種素材に対応した作図方法を習得させる。	通年	180	6					○		○			
	立体構成Ⅲ	○			服装造形 立体構成	トワル等を使用しプリーツスカート、ドレープのあるデザインの立体裁断など、シルエットの表現テクニックを習得させる。	通年	60	2		△			○		○			
	アパレル生産管理Ⅲ	○				生産企画	生産工場などの製品を所定の納期までに計画的に生産する流れを理解させる。	通年	10	1	△				○		○		
		○				生産管理	アパレル産業を把握し製品の品質・原価・納期に関する知識を高める。	通年	10						○		○		
		○				アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し新素材の情報や産地について学ぶ。	通年	10		○					○		○	
		○				パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を習得させる。	通年	60	2					○		○		
		アパレルパターンメイキングⅢ	○				工業パターンメイキング	工業ボディによるドレーピングや平面作図を縫製工場で使用する工業用パターンに展開する方法を習得させる。	通年	51	3						○		○
○					グレーディング	パターンをサイズ別に展開する技術や知識を実習を通して理解させる。	前期	18							○		○		
○					CADパターンメイキング	パソコンにてCADソフトを使用し、パターンの入力、展開、縫い代付け等のCAD操作を習得させる。	前期	12	○						○		○		
○					CADグレーディング	パソコンにてCADソフトを使用し、グレーディングから応用編のパターンアレンジまでのCAD操作を習得させる。	前期	6	○						○		○		
○					CADマーキング	パソコンにてCADソフトを使用し、生地用尺を計算するマーキング操作を習得させる。	前期	3	○						○		○		
メンズ造形	○				メンズ造形 平面構成	基本的な紳士服のジャケット、シャツ、パンツの平面作図の構造を理解する。	前期	15	1					○		○			
	○				メンズ造形 ソーイング	基本的な紳士服の平面作図の構造を理解し、ジャケットの縫製実習を通して縫製技術を習得させる。	前期	15							○		○		
ファッションデザイン	○				ファッションデザイン画	応用技術を習得し、商品企画提案を意識したデザイン画の手法を習得させる。	前期	15	1					○		○			
					ファッションデザインCG	パソコンにてイラストや画像加工ソフトを使用し、ファッションデザイン画の作成、画像加工の操作を習得し、ポートフォリオを製作する。	前期	15		○					○		○		
	○				ファッション情報	雑誌やテレビ、インターネット等から情報収集し、市場調査を行いクリエイティブな創造力を高める。	通年	12	○					○	○	○			
	○				テキスタイルデザイン	素材の知識や構造を講義を通して習得し、オリジナルのテキスタイルデザインへの創造力、感性を高める。	通年	12	1	△					○		○		



服飾工学	イン学Ⅲ	○	メンズデザイン	紳士服の構成、ディテールを講義を通して学び、ファッションデザインに活用することを目標とする。	前期	6	○					○							
	服飾工芸Ⅲ	○	テキスタイル	皮革、毛皮等の特殊素材、染色の知識を理解し、素材への応用力を養うことを目標とする。	通年	15							○	○				○	
		○	アパレル染色演習	シルクスクリーンやろうけつ染めなど、演習を通して生地染色技法を習得させる。	前期	27	2							○	○				○
		○	アクセサリ	アクセサリの構造、製作方法を理解し、衣服に合わせコーディネートを考えることができる能力を身につけさせる。	通年	18								○	○	○			
ファッションビジネス	ファッションビジネス論	○	ファッションビジネス論	急速に移り変わるアパレル業界の現状を正しく認識理解し、将来のアパレル産業の展望を考察する能力を身につける。	前期	18	1	○					○	○					
		○	リテールマーチャダイジング(計数)	原価、利益、粗利など生産、流通に関わる計数管理を習得させる。	通年	6	○							○				○	
		○	ストアマネジメント	店舗での接客、商品の量、計数管理など店舗運営管理の知識を習得させる。	通年	6	○								○				○
	ファッションマーケティングⅢ	○	ファッションマーケティング	市場調査の結果を分析し、商品開発の企画提案をプレゼンテーションを通して発表する方法を身につける。	通年	9	2	○						○					○
		○	ファッションマーチャダイジング	自己のブランド企画から販売までの計画と管理を組み立てる仕組みを習得させる。	通年	9	○								○				○
		○	ビジュアルマーチャダイジング	服の並べ方、ディスプレイのビジュアルを企画し、プレゼンテーションを行うことで視覚的効果のテクニックを習得させる。	通年	3		○								○			○
		○	マーケットリサーチ	商品開発のための市場調査、分析を実習を行いながら理解させる。	通年	6	○								○	○			○
		○	セールスプロモーション(広告論)	広告の効果について学習し、売上を伸ばす為の広告作りの方法を実習を通じ、習得する。	後期	18	○									○			○
コーディネート	コーディネートⅢ	○	インテリアコーディネート	販売店舗の什器選択、配置などを講義通し知識を得て、実習により店舗模型の製作を行いVMDの理解をさせる。	通年	3	○							○				○	
		○	ブランドプランニング	ブランドのターゲット、コンセプト、イメージの組み立て方を学び、自己の企画するブランドを計画、組み立てを習得する。	通年	12	○								○	○			○
キャリア教育Ⅲ	コーディネート	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えたコーディネートの応用を身につけさせる。	通年	15	1	○					○	○				○	
		○	コーディネート演習	自己の制作した作品に対して、色彩や小物の活用でより効果的なコーディネートで創造力を表現できるテクニックを習得させる。	通年	15	○									○			○
一般教養Ⅲ	就職	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践教育する。学校内での、企業説明会の開催。	前期	15	2	○					○	○				○	
		○	インターシップ	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	前期	45							○			○	○	○	○
特別授業	一般教養Ⅲ	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学習する。	前期	15	1	○						○				○	
		○	美術鑑賞	美術館などを見学し、美術・芸術に触れ、創造力・感性を養う。	前期	15	○									○	○		
その他	特別授業	○	校外研修	学校外にて工場、作品展示、ファッションショーなどを見学・参加して、研修を受ける。	通年	15	2	○							○			○	
		○	特別講義	企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家を招き、講義を受ける。	通年	15	○									○	○		
	○	学校行事	新入生歓迎会、針供養、作品発表会などの行事。	通年	30		○								○	○	○	○	
学年合計				43科目	1200時間				40単位										
総合計				43科目	1200時間				40単位										

	学年授業方法	講義		実験・実習・実技・演習
	授業総合計	講義		実験・実習・実技・演習
卒業要件履修方法			授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること			1学年の学期区分	2期
			1学期の授業期間	21週

(注)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すること。
- 2 企業との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について○を付すること。